

福井新聞

発行所
福井新聞社
福井市大和田町56
郵便番号 910-8552
電話 0776(57)5111
読者センター 57-5140
© 福井新聞社 2006年

古民家に自然の学校

福井市のNPO法人「自然体験共学センター」は十五日、小浜市谷田部に「わかさ自然学校」を開いた。同区内の古民家を拠点に、本年度末まで毎月二回のペースで講座を開く計画。「子どもが自分の家のような感覚で遊びに来てくれるような場所にしたい」と意気込んでいる。

かまぼこ板を使って名札作りを楽しむ子どもたち
—小浜市谷田部



福井のNPO、小浜に開校 児童と料理や川遊び

文部科学省が委託する「子どもの居場所づくり事業」の一環として、地域の子どもの安全、安心に遊ぶことができる場所をつくらうと企画した。同センターは二〇〇二年から毎年、谷田部区内で自然体験合宿を開くなど、同区とはゆかりがある。参加対象は区内に住む小学生で、基本的には公民館が休みになる月曜日の放課後に開校。子どもたちに昔ながらの家の造りなどを知らせてもらおうと築約百年の空き家を「校舎」に使う。スタッフは、事務局長の高井謙さん(三九)を中心とする同センターのメンバーに加え、地域の住民や教員OBらが講師などとして参加する。

講座は、キャンプや川遊びといった同区の豊かな自然を生かした行事を計画しており、来年三月までに計二十四回開く。地域のお年寄りを招いたしめ縄作りや特産品の「谷田部ネギ」を使った料理教室など、地域の伝統に触れる講座も予定している。

第一回のこの日は、二一六年生の四人が参加し、学校の顔になる看板作りに取り組んだ。ペンキを使うのが初めてという子どもたちは、メンバーに習いながら、赤や黄色など思い思いの色でカラフルに仕上げた。このほか、かまぼこ板で出欠確認の名札を作るなど、今までにない体験を存分に満喫した。的場千明さん(二七)は「みんなが集まって遊ぶ場所ができ、これからの楽しみ」と話していた。

高井事務局長は「自分たちが自然学校の基礎をつくり、何年後には地域で運営できるようにすることが理想」と話していた。